

(^_^) 『明日からの学級が変わる！HOWTO学級作り・特別活動』 (^_^)

(^_^) 山口学級活動ネットワーク メールマガジン (^_^)

(^_^) 平成18年12月11日発行 第21号 (^_^)

∞メニュー∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

- 1 子どもが主体的に取り組む話し合い活動 ～その10
- 2 学級通信を考える～その6 学級の問題を書く
- 3 メルマガ情報交換広場
- 4 メルマガ編集部からのお知らせ

∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞∞

-
- 1 子どもが主体的に取り組む話し合い活動 ～その10 話し合いを活発にする
山口市立平川小学校 梶田崇晴
-

一部の子が意見をバンバン言い、決まり切ったことが簡単に決まっていくような話し合いは本物ではないと思います。やはり、全員が参加できる活発な話し合い活動を目指すべきだと思っています。

活発な話し合いにするために、どんなことに気をつけておけばいいか、まとめてみたいと思います。

その1) 話し合うことが明確になる議題をつくる

話し合いが活発になるかどうかは、議題によってほぼ決まると考えています。そこでは何を話し合えばいいのかが明確になるようにしたいものです。そのために、議題を決める際の計画委員会での話し合いでしっかり指導したいものです。例えば、「2学期のお楽しみ会について話し合おう」よりも「3学期に生かせる2学期のまとめの会について話し合おう」の方が、「何を話し合えばいいのかが明確になってきます。

「3学期に生かせる…」の部分には、「〇〇大会の経験を生かした…」「男女が仲良くなる…」「5年2組オリジナルの…」「みんなの気持ちを一つにできる…」などのような言葉を入れるといいかもしれませんね。

その2) 話し合いへの意識を高める

その話し合いを、子どもたちがわくわくして待っている状態がつくれるといいですね。そのために、子どもたちの中に話し合いへの意識を高めておくとうよいようです。

- ◇いつ話し合うのか、予告をしておく。
 - ◇その話し合いをすると学級がどのようによくなるのか(学級がよりよくなる予感)について話をしておく。
 - ◇事前に学級会ノートに意見を書かせておく。
 - ◇休み時間等に話し合いの内容を話題として取り上げる。
- ※2つ目に書いた「学級がよりよくなる予感」については、教師の出番です。

その3) 分かりやすい提案を行う

活発な話し合いにするためには、全員が「何を」「どう話し合うのか」がわかっていなければなりません。そこで、分かりやすい提案をさせるようにしておきましょう。

◇提案理由を板書し、提案者にはゆっくり分かりやすいように発表させます。

◇資料を添えて発表させると効果的です。

◇初めての場合には、事前に練習させておく方がよいと思います。

その4) 話し合いのルールをつくる

話し合いにはルールが必要です。ただ、すべてのルールを性急に与えてしまうのは賛成しません。子どもたちの話し合い活動を通してルールを見つけだしていくようにしたいものです。そのために、ルールにかかわるような発言があった場合には、その場もしくは終わりの先生の話で意識させるような助言を行い、自分たちで築き上げたルールという形で残していくといいですね。

話し合いのルールの例を示しておきます。

◇話し手のルール◆◇◆

- ・発言したいときは挙手をして、司会の指名を待って発言しよう。
- ・聞いてもらいたい人の方を向いて発言しよう。
- ・まず発言の立場（賛成、反対、質問、修正など）をはっきりさせ、それから理由を添えて発言しよう。
- ・反対意見を述べる場合には、自分の考え（代案）を必ず言おう。
- ・友達の考えを取り入れた発言に心掛けよう。
- ・司会や友達が困っていたら助ける発言をしよう。
- ・自分の意見は最後まではっきり発言しよう。
- ・話し合いを一人占めにしないようにしよう。

◇聞き手のルール◆◇◆

- ・発言している人の方を向いて聞こう。
- ・相手の意見の大切なところをしっかりと押さえながら、最後まできちんと聞こう。
- ・分からないところは手を挙げて聞こう。
- ・友達が間違った意見を出しても笑わないようにしよう。

その5) 時間切れの場合を決めておく

時間が足りなくなっても話し合いが最後まで進まなかったときは、残った問題によって次のような対応をするように決めておきます。

- (1) 次の学級会で話し合います。
- (2) 朝の会、帰りの会で再度話し合います。
- (3) 計画委員会（班長会）に任せます。
- (4) 提案者と司会グループにまかせます。
- (5) 関係ある係に任せます。
- (6) 各グループから一人ずつ出してもらって、その人たちに任せます。
- (7) 司会グループと先生に任せます。

子どもたちには、「時間がなくなったからといって簡単に多数決をやってはいけないよ」と指導しておきます。最終的な決断方法や決定方法が未確定のままだと司会の子どもたちも不安になります。だからこそ、このような約束が必要なのです。

その6) 座席の作り方を工夫する

話し合いを活発に行わせるためには、座席の作り方を工夫するのも一つの手です。基本的には、コの字型につくることが多いのですが、必要に応じて、班の形にしたり、円形にしたりします。詳しくはホームページに図を掲載しておきます。

その7) 少数意見を大事にする

少数意見を大事にしているかどうかは、子どもたちの話し合いに対する意欲が高まっていくかどうかに関わってくる大事な問題です。少数意見というのは、どうしても孤立しやすいものです。そこで、普段から次のようなことに気をつけて指導しておくことが大切です。

- (1) 少数意見を出してくれたことに対する勇気を認め、激励する。
- (2) 多数意見と少数意見の相違点を考えさせ、よい方向へと話し合いを進展させる。
- (3) 少数意見のいいところを見つけだし、多数意見を修正する。

その8) 話し合いを活発にするための5つのチェック

最後にチェックを！話し合い活動が活発になるかどうか、次の5つのチェックを試してみてください。

- ◇ 学級内に好ましい人間関係ができていますか？
- ◇ 話し合いの仕方が身に付いていますか？
- ◇ 個に応じた指導・助言がなされていますか？
- ◇ 他学級との交流が図られていますか？
- ◇ 計画委員会の際、適切な指導がなされていますか？

2 学級通信を考える～その6：学級の問題を書く

山口市立平川小学校 梶田崇晴

わたしは、自分の成長のために、また学級の成長のために。問題がどんな経過で進行していき、それに対して子どもたちがどう動いたのか、そのプロセスを通信に書いたらよいと思っています。

学級内には実に様々な問題が起こります。以前「うちのクラスには問題がありません

ん」とおっしゃる方がおられました。う～ん， どういう学級作りをすれば問題が起こらないんだろう…。私には理解できませんでした。ひょっとしたら， がんじがらめの規則があって， 子どもが問題を起こせないようになっていたのかなあ…と思ったほどです。

それぞれに個性をもった子どもたちが集まっているところですから， 問題が生じない方がおかしいと思いませんか。問題が起こらないように普段からの学級作りで取り組んでいかなければならないことはもちろんですが， 問題が起こった時どうするか， ということを考えておくことも大事なことでないでしょうか。

そこで， 問題が起こった時をチャンスと捉えるのです。富山の老月先生から， これを“トラブル・チャンス＝トラチャン”と呼んで， 学級作りに生かしていくといいことを教えてもらいました。

今， 説明責任ということが強く求められている時代でもあります。学級で起こった問題をていねいに取り上げ， 書いていくことによって， 保護者にも事の経緯がよくわかり， 我が子との会話が生まれたり， 学級への意見を寄せてもらったりと保護者の参画意識を高めることにもなります。また， 子どもたちにとっても， 自分たちに起こっていることを読み直すことで， そのことを再認識したり， 一歩引いた立場で考えたりすることができます。

ただし， 個人にかかわる問題は， 通信よりも家庭連絡という形の方がよいと思います。

3 メルマガ情報交換広場

以前， 杉田調査官が「希望の会メーリングリスト」に次のように書かれていました。『「特別活動を一生懸命指導しているのは一部の教員であり， 成果が上がっていない」という指摘があります。また， 「理念は高いが， 誰もができるものになっていない」という指摘もあります。ずいぶん乱暴な言い方と思いますが， このことを完全に否定しきれませんか。まずは， みなさんの各地域において， それぞれの立場で， どの先生にも特別活動に取り組んでもらえるような働きかけをしていただくことを期待します。』『まずは， どの先生にも熱心に取り組んでいただける特別活動にすることが先決です。そのためのアイデアや方策について， お考えがあればご意見をください。』（2006年7月4日 記）

今， そのための具体的な行動として動き出すことが大切だと考えています。そのために， このメルマガによる情報交換が役に立てればと考えています。多くの読者の皆さん， 日頃の実践を紹介し合いませんか？ メルマガ購読者のみなさんの実践をお知らせください。このメルマガを双方向の情報交換誌にしていきたいと思います。

テーマは特にこだわりませんし、「特集してもらいたいテーマについて」でもかまいません。ぜひとも実践やご意見などを知らせただいて、メールマガジンの活性化にご協力ください。お便り待っています。お待ちしております。

下記アドレスまでメールでお知らせくださ〜い。

☆ sugi-net@c-able.ne.jp

4 メールマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第22号は12月下旬ごろ発行予定です。

次号では、「子どもが主体的に取り組む話し合い活動 その11〜学級会での助言」について紹介する予定です。

原稿の投稿がありましたら、そちらを優先することがあります。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は121名です。もっともっとメルマガ仲間を増やしたいです。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してもらえませんか。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆ブログのお知らせ◆◇◆

学級づくりについて、特別活動の実践を絡めながら、チョット思ったことや考えたことを綴るブログを書いています。明治図書さんの「Edu ブログ」、とっても簡単で、私にも使えます。いま、なかなか調子よく進んでいます。もし興味ある方はのぞいてみてください。

<http://edublog.jp/moomin/>

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====